

センターだより

第68号

発行
平成20年1月



別府港の朝

も く じ

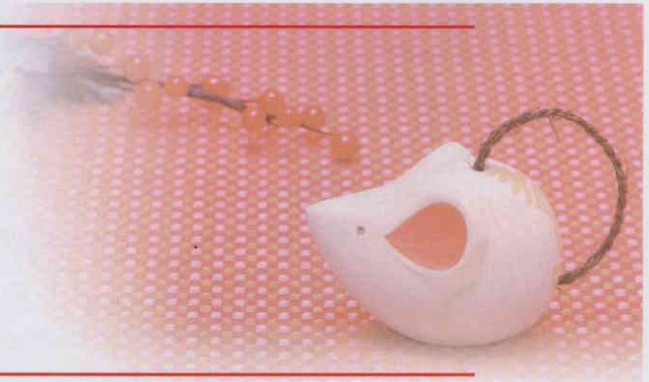
| | |
|-------------------------------------|---|
| 所長挨拶 新年を迎えて | 2 |
| 看護の現場より | 3 |
| 職能訓練だより | 4 |
| 修了者アンケート調査の実施について..... | 5 |
| 行事アラカルト | 6 |
| 「頸髄損傷者リハビリテーションを考えるシンポジウム」ご案内 | 8 |
| 体育館耐震補強工事について | 8 |

指定障害者支援施設

国立別府重度障害者センター

新年を迎えて

所長 江原 徳至



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、つつがなく新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。早いもので障害者自立支援法が本格施行されてから1年が経過しました。当センターとしましては、昨年同様制度の定着に向け前進してまいりたいと考えております。

昨年も利用者の方々は、芸術やスポーツ分野において訓練等の成果を遺憾なく発揮しました。

文化祭では、「障害があってもおしゃれをしてみっと外に出たい」という思いを持つ利用者の中本さんが、車いす生活デザイナーの長屋さん（自動車レース中に事故を起こし現在車いすの生活をしておられます）をセンターにお招きし「車いすファッションショー」を開催しました。お尻の部分を優しくしたジーンズ、着やすくした浴衣、それにタキシードやウェディングドレスまで。利用者や修了生、職員がモデルとなって披露しました。みなさんのちょっと照れた素敵な表情を見て、おしゃれをして外出するといういたく当然のことに、今まで考えが及ばなかったことに気付かされました。

大分国際車いすマラソン大会には、清水さんと比嘉さんが初出場での参加、齋藤さん、塩飽さんは力を発揮し昨年の記録を更新することができました。

また、障害程度が最重度「T51」クラスのハーフマラソンでは、10名の参加者のうち、7名が当センターの利用者と修了生でした。センター修了後も車いすマラソンに挑戦し続けていることに

感銘を受けたと同時に、今回出場したメンバーが来年も出ようと話し合っていると聞き、心強い思いもしています。

センターでは、現在のリハビリ訓練をより良いものにしていこうと、今年3月、別府市内のビーコンプラザにおいて、西日本地域の病院、施設の職員を対象とした「頸髄損傷者のリハビリテーションを考えるシンポジウム」を開催します。当センターの現状を示し、専門家の方々から様々な指摘や助言を受けることにより、今おかれている状況を客観的にとらえ、訓練の質の向上につなげていきたいと考えています。

また、昨年に引き続き今年2月、トキハデパート別府店において、手織り・トールペイントの職能訓練作品展の開催も予定しています。昨年、来場された多くの方が作品の素晴らしさに驚き、感心されていたことを励みに、現在は修了生の職能作品を販売につなげようと、その方法を模索しているところです。その一つとして、昨年より生活協同組合を活用した販売を始めました。今後もこの方法による販売を充実させるとともに、他の方法についても検討していきたいと考えております。

今年もより良いサービスを提供することを念頭に職員一丸となって進んでまいりたいと思っております。どうぞ引き続き皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

看護の現場より

当センターでは利用者に対して、リハビリテーションが円滑に行えるよう健康管理をすると共に日常生活の介助を通して障害に由来する合併症や随伴疾患を予防し訓練成果を挙げることを目標に個別的に援助しています。

又、各看護師が、担当する利用者に対して必要な看護等を盛り込んだ介護計画を立案します。健康状態や医療が必要かどうかの事項を評価し、施設生活が円滑に送れるよう援助しています。ここでその一部を紹介させていただきます。

① 健康管理

①定期健康診断やインフルエンザ予防接種、毎月実施する体重測定や尿検査、褥瘡チェックなど定期的な検査等により病気の予防や早期発見に努めています。

②健康管理や合併症の予防が出来るよう教育指導を行い、家族の方にも機会を利用し支援等を行います。利用中はもとより修了後の生活をも視野に入れ健康指導等を行います。

③医師の指示の基に諸検査、薬剤の与薬と管理、他科受診、診療の補助等を行います。また協力病院やそれ以外の病院とも密接な連携のもとに受診をしています。



② 自立への支援

訓練室での訓練と併行して、居室でも身の回りの事が自分できるように、訓練部門と協力し環境の調整等を行います。また細部にわたっての訓練・指導・工夫を行っています。



③ 精神的な支援

生活面での観察を通して生活状況を把握します。悩み等の相談に応じ、看護部門内で対応できることについては対応すると共に、他部門との連絡調整を行い協力し対応しています。

最後に、看護部門では、利用者が健康を維持しリハビリが円滑にすすむように、安全で快適な生活が送れるように支援すると共に1日も早く社会復帰できることを願って支援をしております。

職 能 訓 練 だより

職能訓練室

今回の作品展のテーマは

「トールペイント・手織り物」の作品展を昨年の6月と11月に開催しました。6月の展示では人通りのとても多い大分銀行明野支店のショーウィンドウをお借りしました。テーマは「爽やかな初夏」。隣接するショッピングセンターを利用される方も立ち止まっては丁寧に見ていただきました。また、11月のグリーンコープおおいた西の台店では作品の内容を絞った「オイルペイントとマフラー展」。一体感もあり、買い物帰りのお客さんにも大好評でした。



別府市内外からの参加

平成16年からスタートした「手織りとトールペイント」の市民講座も今回で6回目です。昨年の6/20～7/12の毎週水曜に行い、毎回到ぎやかな講座となりました。参加者はトールペイント



の「表札作り 初級編」に5名、手織りの「手織りのマフラー作り」は4名。別府市内でもまだ珍しい手芸を体験できるイベントに市外から参加された方も多く、皆さん最終日まで休むことなく、目的の作品を仕上げることができました。

修了後もチャレンジ

トールペイントや手織りの技術を習得し、地元で継続される方が増えています。継続目的のひとつの「自営」に向け、販路としてこれまで県内に3店舗をご紹介しています。このたびグリーンコープ生協さんにて各商品の取り扱いを検討して下さることとなり、8月下旬より試行を重ねております。

今回のアビリンピック県予選でも！

「第7回大分県障害者技能競技大会」が昨年の7月28日ホンダ太陽株式会社日出工場にて開催されました。大分県大会の競技はワープロ、電子回路、ホームページ作成、機械CADの4種目で競われます。今回の大会では当センターより中本さんがホームページ作成部門に出場され、見事1位金賞を獲得されました。昨年のアビリンピック世界大会で特別賞を獲得された寺田義孝さんも、本大会の第4回で1位を獲得されています。



修了者アンケート調査の実施について

庶務課長 齊藤 孝三

国立別府重度障害者センターを修了した利用者の地域生活の状況を把握し、今後のサービスの提供方法及び修了者への支援方策を検討するための基礎資料を得ることを目的として、昨年10月1日現在で修了者アンケート調査を実施しました。本調査は、平成3年、平成9年に実施しており、今回は3回目となります。平成18年に障害者自立支援法が施行され、修了者を取り巻く福祉環境は大きく変化しつつあるとともに国立別府重度障害者センターは指定障害者支援施設として従来の施設サービスから専門的サービスの提供が求められてきています。このようななかで、今回の調査において修了者からの貴重なご意見を多数回答いただき、その調査結果を踏まえ、今後の国立別府重度障害者センターのサービス提供等の在り方について検討していくこととしています。今回の調査に合わせ、国立伊東重度障害者センターにおいても同様の趣旨に基づき調査が実施されています。本調査の集計作業は、現在行っているところであり、今年2月末までに調査結果を報告書としてまとめることとしています。

(調査の概要)

- 1 調査の対象
平成9年4月1日から平成19年3月31日までにセンターを修了した者 (281名)
- 2 調査の事項
現在の生活状況・健康管理の状況・仕事について・住宅について・スポーツ、余暇活動、社会活動等・医療や福祉サービス・生活で困っている動作
- 3 調査の方法
アンケート調査票を郵送し、自筆又は家族・介護者の代筆により記名、記載後センターに返送又はパソコンによる回答としいずれも無記名とする。
- 4 回収状況
送数243名・回答数78名 (郵送61名 パソコン17名)
(回収率32.1%)

行事アラカルト

大分国際車いすマラソン大会



力走する比嘉選手

指導課 山下 庄二

10月28日（日）第27回大分国際車いすマラソン大会が晴天のもとで開催され、センターから、齋藤裕治さん、比嘉三男さん、塩飽智美さん、清水佑太さんの4名がハーフマラソンに出場しました。齋藤さんは、最も重いT51クラスで見事第2位となりました。比嘉さんは、初出場ながら完走する事が出来ました。塩飽さん、清水さんは、残念ながら完走する事が出来ませんでした。来年につながる素晴らしい健闘を見せました。

全国障害者スポーツ大会

「きっと出会える！夢と感動」のスローガンのもと、第7回全国障害者スポーツ大会「わか杉大会」が、平成19年10月13日から3日間、秋田県にて開催されました。

大分県からは、前年の3倍となる129名の選手が参加されました。センターからは塩飽智美さんが陸上競技2種目（スラーローム1と60m走）に出場され、大会新記録で金メダルを獲得されました。来年、第8回全国障害者スポーツ大会「チャ

指導課 橋本 都

レンジ！おおいな国体」が開催されます。大分選手団による更なる活躍を期待したいものです。



表彰を受ける塩飽選手

文化祭

指導課 川辺 明子

10月6日（土）に開催されました。テーマは、利用者の富山氏が考えて下さった「微笑みを笑顔で返す～I return a smile for a smile」です。村上実行委員長の的確な指示のもと実行委員の方々は訓練の合間をぬって準備に励んでこられました。今年は、特別企画として、宮崎ダンスチームのヒップホップダンス、別府青山高校吹奏楽演奏、福祉車両展示、車いすファッションショーなどの、盛りだくさんの内容となり、利用者の方をはじめご家族・地域の方々が一緒に楽しめた文化祭となりました。



福祉車両の展示



利用者による車いすファッションショー

ホタルの答礼

指導課 郡山 潤子

6月の竹田市立南部小学校のホタル寄贈のお礼として、11月7日（水）利用者3名、職員8名で南部小を訪問しました。

全校生徒から大歓迎を受け、車いす体験や、6年生と教室で給食を食べたり有意義な交歓ができました。



バスピクニック

庶務課 川名 敦

平成19年9月12日（水）に複合ショッピングセンターのパークプレイス大分まで行きました。利用者20名が参加されました。晴天に恵まれ、皆さん思い思いに買い物や食事、映画鑑賞などを楽しみました。



第7回国際アビリンピックに出場して

修了生 寺田 義孝

こんにちは。修了生の寺田義孝です。

このたび静岡で開催された、『第七回国際アビリンピック』にホームページ作成部門日本代表として参加し、特別賞をいただくことが出来ました。

持ち時間の制限がある競技で入賞できたのは、自分としては満足。あとはこの分野の腕を更にあげて、仕事につなぎたいと思っています。頸髄損

傷者にとって、パソコンは重要なアイテムです。自宅で過ごす時間が多くなりがちな僕らにとって、世間と繋がるラインであり、余暇の大きな部分となり、うまく行けば就労にも繋がります。同じ事がトールペイントや織りにも言えます。健常者が簡単に出来る事が僕らには出来ない。なら、並みの健常者が出来ない事をやれば楽しく生活できるのではないかと、思って日々頑張っています。



厚生労働大臣から激励



国際交流

「頸髄損傷者リハビリテーションを考えるシンポジウム」のご案内

- 1、日 時 平成20年3月8日(土) 10時～16時
 2、場 所 ビーコンプラザ(別府市)
 3、プログラム 第1部 基調講演「頸髄損傷のリハビリテーションの現状と課題」
 講演者：吉備高原医療リハビリテーションセンター
 院長 徳弘 昭博氏
 第2部 国立別府重度障害者センターの訓練紹介
 第3部 事例報告及びパネルディスカッション
 テーマ「頸髄損傷のリハビリテーションにおける医療と福祉の連携」

※ 詳細については、当センターへ直接お問い合わせ下さい。

体育館耐震補強工事について

庶務課 石毛 利宏

九州地方整備局が行った「官庁施設の総合耐震診断結果」において、センターの体育館が人命に対する危険性が高いと判断されました。そのため、平成19年10月から耐震補強工事を開始しました。工期は今年3月中旬までです。工事が終了すれば、安心して体育館での訓練やクラブ活動を行うことが出来ます。

修了生の状況

平成19年7月1日～平成20年1月1日

| 復帰形態 | 家庭復帰 | 在宅就労 | 職業訓練校 | 自 営 | 他施設 | 計 |
|-------|------|------|-------|-----|------|-------|
| 人 数 | 16 | — | — | — | 2 | 18 |
| 比率(%) | 87.5 | — | — | — | 12.5 | 100.0 |

職員異動

- 退職 (平成19年8月31日付)
 指導課長 野口 勝好
- 新規採用 (平成19年10月1日付)
 医務課介護員 江藤加奈子 小野貴代子 若杉美麻子

利用者募集のご案内

当センターは、指定障害者支援施設として、自立訓練(機能訓練)を実施しています。また、これらを利用する方々に対して、必要に応じて施設入所支援を行っています。

利用にあたっては、「受給者証」が必要となりますので市区町村の福祉担当窓口にご相談下さい。

お問い合わせ先

国立別府重度障害者センター指導課
 電話 0977-21-0182 (相談・受付窓口直通)
 FAX 0977-21-2794
 E-mail soudan@beppu-nrh.go.jp
 http://www.beppu-nrh.go.jp

企画 国立別府重度障害者センター
 発行 〒874-0904 別府市南荘園町2組
 TEL 0977-21-0181

表紙写真撮影：中津留富也様